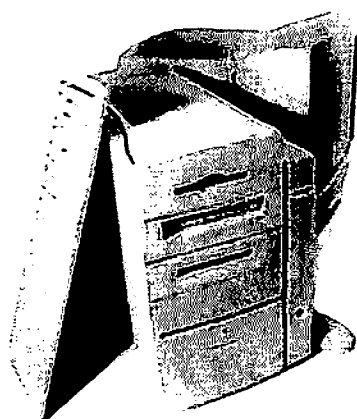


# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.9, No.4 1997.12.20

Iwate Macintosh Funclub



# G3

▶ Power Macintosh ▶ PowerBook

### G3 Mac登場!

今年の8月に米国Apple本社の経営陣が替わって発表された新しい方向性「どんなニーズにも応えられる高水準のコンピュータを、シンプルなラインアップで提供していく」に沿って、新世代プロセッサを搭載した「G3」製品ラインが12月3日に発表されました。

発表されたのは、デスクトップ型のPower Macintosh G3シリーズとノートブック型のPower PowerBook G3（総称：G3製品ライン）はいずれも、新世代のマイクロプロセッサ「PowerPC G3」の搭載と、新設計のロジックボードを中心とする優れたシステムデザインにより、Pentium IIを搭載した最新のWintelパソコンを超えるパフォーマンスを実現しているといえます。

ちなみに、PowerPC G3は、アップル、IBM、モトローラの共同開発による、RISCアーキテクチャによるマイクロプロセッサ「PowerPC」の、第三世代にあたるプロセッサ（PowerPC 750など）に対するアップルの呼称です。PowerPC G3は、0.25  $\mu$ m（マイクロメートル）ルールという業界最先端のCMOS製造プロセスによって製造され、ダイサイズが小さく低消費電力・低発熱なため、Pentium IIを超えるパフォーマンスを実現しながらも、ノート型パソコンにも搭載が可能なプロセッサです。

更に、「バックサイドキャッシュ」と呼ばれる新たな二次キャッシュアーキテクチャが採用され、既存のものと比較して大幅なパフォーマンスアップが図られています。

ハードウェアが出そろいましたので後は新OSの登場を待つばかり...

### MMM'97報告

すっかりIMFの恒例のイベントになったMMM (Meet the Macintosh in Morioka) でしたが、今年は日程が悪かったのか、はたまた、アップルからの参加が無かったためか前代未聞の10名という少数精鋭での開催になりました。

果たして盛り上がるかという主催者の予想に反して、充実した内容になりホッとしました。

(詳細は次ページからの特集記事をご覧ください)



### Inside

MMM開催報告	2
Mac de FAX	6
私のMaclife (1)	10
私のMaclife (2)	12
山の花	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

# MMM '97 開催報告

Reported by Y. Nomura



恒例のMMM(Meet the Macintosh in Morioka)が無事終了しました。その経過を紹介します。

募集要項は以下のとおりでしたが...

主催：岩手Mac友の会有志

日時：1997年11月8日（土曜日）14:30～

9日（日曜日）10:00解散

場所：ぬくもりの里NUC（ヌック）

岩手県医療局職員互助会福利厚生施設

岩手県雫石町長山52岩手山7

Tel:019-693-3861

参加費：1万2千円（一泊二食付き）

定員：30名（先着順）

参加方法：現地集合（14:00）現地解散（10:30）

定員にはるかに及ばない10人の応募でした。ヌックに30人の予約を入れていた私は、低姿勢で相談に伺ったのでした。経費など詳細に詰めた結果、何とか開催のめどが立ったときは正直ホッとしたものでした。予約に大きな穴を開けたにも関わらず良くしていただいて恐縮しています。

内容も参加者皆様のご協力で充実したものになり、感謝しています。



急遽発表したものを含んでいますが、自己紹介・近況報告の中で話された内容は含んでいません)

← 開催準備をする  
Dr.K と野村  
(今年は何故か煩  
調)

## 参加申込者一覧

敬称略（申込順）

From Tokyo

佐藤 圭(Dr.K)

発表：PowerMacケチケチ  
チューンナップ講座他

川村 渴真

発表：PowerMac G3の衝撃

From IMF

長土居 正弘

発表：エクセルを使った  
プレゼン

斉藤 秀一

発表：なし

佐藤 学

発表：なし

熊谷 知暁

発表：ユーテリティあれこれ

白石 隆

発表：なし

藤原 友行

発表：Mac de FAX他

吉田 洋孝

発表：なし

野村 行憲

発表：Palm Pilotの全て

合計：10名！

（発表は、参加申し込みで「発表無し」となっている、MMMの中で

はじまり、はじまり

MMM'97 最初の発表は  
長土居 正弘さんの  
「Excel を使ったプレゼン」です。  
(予定を少し遅れた 14:45開始)

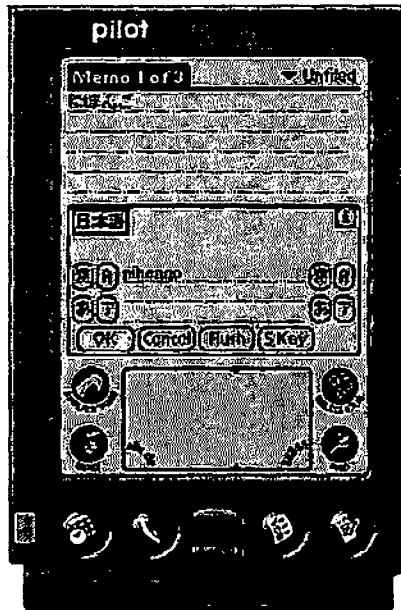
本題の Excel を使ったプレゼンの説明の前に、その背景となる住宅の断熱の話がありました。いわば「家を作るなら」というもので、もっと早く聞いていれば... というものでした。たとえば

人間の体感温度は、(壁の温度 + 寒暖計の温度) ÷ 2 だとのこと。空気が暖まっても壁が冷たければ体感温度が下がるという訳です。空調のポイントは保温と対流ということも教わりました。

この前提で、外気温と断熱材の変化による体感温度のシミュレーションを Excel で寒暖計のアニメーションが見事でした。

また、テレビでしか見たことなかったサーモグラフィーも興味深いものでした。

Excel と鉄は使いよう？



次は、私 (野村) がPilot の紹介をする番です。(15:15~)

US Robotics が開発し、販売した携帯端末の Pilot は、Newton を小形にしたような製品です。US Robotics はその後、3COM に買収されましたが、Pilot は売れ続けバックライトを付け、メモリーを拡大し、ネットワーク機能を内蔵した Palm Pilot が登場したことや、山田達司さんが開発した日本語 OS 「J-OS」の登場で日本でも一躍人気が出てきました。

折しも、日経MACの97.11号でも川村 渴真さんが「マックの分身Pilotを使いこなす」という記事を書いたばかりということで、筆者を前に釈迦に説法をすることになりました。

独特の手書き認識、日本語の入力方法、多彩なアプリケーションなどを紹介しました。

<ここで休憩>

休憩に続いては、ファイルメーカーの鉄人藤原 友行さんの Mac de FAX です。(予定無しなのに強引にお願いしましたが、話し出すと...)

この内容は後のページ (6page) に詳しい記事がありますので、ここでは省略します。

更に、ファイルメーカーで作成した、あるお寺の過去帳のシステムの紹介がありました。実に多機能かつ高度なシステムで、感心させられました。やはり良いシステムを作るには情熱が必要なのですね。

<さあ、ここで入浴&

夕食タイムです>

ヒノキ風呂、露天の岩風呂、サウナ風呂のハシゴと豪華宴会料理。



↑ MMMを終えてさわやかな表情の参加者たち

夕食の後半、仕事で遅くなった齊藤さんが合流しました。まるで宴会のような盛り上がりを見せた夕食でパンパンになったお腹を抱えて夜の部に突入です。

夜の部のトップバッターはご存じ川村 湯真さんです。(19:55)



実は「今回の参加は発表無しで」と言われていたのですが、強引に G3 Mac について解説して頂きました。

新たに発表された Power PC 750 (通称: G3) が搭載された Mac はクロック 233MHz でありながら、604e 250MHz を搭載した Power Mac 8600/250 をはるかに超えるパフォーマンスを叩き出します。

この G3 がなぜ早いのかをその原理の説明から比較結果まで紹介していただきました。

更に PM8500/180 を基準とした市販のアクセラレータ・ボードの速度比較結果も発表していただきました。(なんでも後で発売される雑誌の原稿用のデータだとか...)

次は MMM の主的存在の Dr.K こと佐藤 圭さんの登場です。(20:30)

これも予定に無かったのですが、彼が日経 Mac の 3 月号から始まった連載 (といっても 4、8 月号の 3 回だけ) の「Dr.K の Power Mac ケチケチチュー



ンアップ講座」のこぼれ話を披露していただきました。

この講座では、Power Mac に搭載された PCI バスに注目して、DOS/V 用の拡張カードを Mac に流用しようという試みでした。

一例を上げれば 3D-FX 用ボードなどは、それを使用するマック用のゲームソフトもあるくらい浸透しているとのこと。

話は質疑応答形式の雰囲気になり次々と色々な話題が登場します。こうなると Dr.K の独壇場です。

Java 最新動向

Active-X のセキュリティ問題

SISC と RISC の違い

POWER-PC vs Pentium-Pro

などなど。

21:20

続いてユーティリティソフトの研究では、白石さんを越えたと噂される熊谷 知暁さんの登場です。



これも予定は無かったのをむりやり指名して「お勧めユーティリティ」の解説をしていただきました。

話しには色々登場したのですが、面白くて記録を逃してしまっていて漏れているのですが、

1. ApplWindows (フリーウェア)
2. FinderPop
3. EmptyTrash
4. LSAsist lzh.and sit のアシスト
5. WatchResource CMM

更に、中国語 (CLK) での問題から BOPOMOFO のデモまでと多彩な内容でした。

一連の発表が終わり、輪になって IMF 恒例の参加者全員の自己紹介・近況報告の開始です。(22:00~)

いろいろなエピソードが飛び出し、楽しいひとときです。



「林檎」の影の編集長? 熊谷さん



今日も絶好調! 白石さん



何故か住所が変わった齊藤さん



ファイルメーカーの鉄人・齊藤さん



初参加の吉田さん



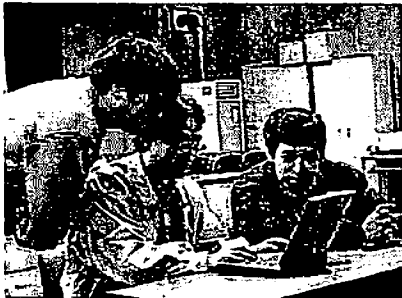
学校が休みで参加しやすかった佐藤さん



ザウルスで皆の顔を取りまくる長土居さん

参加者全員が話し終わったところで、公式プログラム(?)が終了し後はフリータイム(23:00)話の尽きない夜が更けていきます。

ほらほら、こうでしょ～



そろそろ眠くなりましたね～



という訳で、就寝です。  
(午前一時か、今年は早い！)

### 一夜明けて

朝御飯を済ませた食堂で、暫くの間、食堂を占拠してひとしきりマック談義に花を咲かせたのち、会議室に集合して記念写真の撮影です。



長土居カメラマンの雄姿

本来はここで解散の予定でしたが、突如 PB-2400 同士を向かい合わせてIr-Talk (赤外線ポートによるAppleTalk) の実験が始まりました。

コントロールパネルの AppleTalk で赤外線のポートを選び、同じくコントロールパネルの「赤外線」で

IrTalk を選ぶだけで、ケーブルを使わない AppleTalk が稼働しました。こうなるとエスカレートしてきて、2400 同士でファイル転送をしながら距離を離していき、どれくらい離して動作するかの実験が始まる始末。まったく勉強熱心な人達でした。



### 参加者の感想

当日、どうしても仕事から抜けられず、駆けつけたときは、皆夕飯後の閉居のときでした。今回はなんか、中途半端な参加になってしまいましたが、久しぶりのMac仲間とのひとときは楽しいものでした。参加者が少なかったため、やや寂しい感じもいましたが、リラックスマードで、むしろ充実感がありました。

Dr.Kの恒例のMac談話や、川村浩真さんのG3Macの話など、たいへんためになりました。当然、ニューマシンは買えそうにありませんが、G3Macいいですねえ。次に買うときは1GHz版になっているかも。(笑)

齊藤

10名のMMM楽しい内容でした。野村会長有り難う御座いました。世話役、手配係とお世話をかけました。お陰様で実のある交流会でした。ファイルメーカーの達人藤原さんの話は今年も忍びました。

Dr.kの最近の情勢の話、浩真氏のCPUとマザーボードの関係の話、素人の私にも判りやすい内容でした。

野村会長のPilotのプレゼンは、MACとの関係が良く判り、完れている理由もうなずけました。9'98より優れている点も理解できました。

長土居

今回のMMMは第2土曜ということで、私は余裕を持って参加できました。また人数が少ない分サロンの雰囲気だったなと思います。

毎年なにか話題についていけなくなるなあというも実感です。藤原さんのように1つのソフトを使い込んでいるのがうらやましくもありました。9月にパワーブックの借金もなくなりマック関係の借金がゼロになってこれから環境を充実させたいなあと思いました。今年がMMMのメインマシンがPB2400という感じでした。プロジェクトも普通になってきたんだなあと思います。早く学校現場でもそうならないかなあ。 佐藤

私にとってExcelは、見たことはあってもほとんど使っていないアプリケーションの一つです。今回Excelを用いた長土居さんの発表を見て、さまざまな活用の仕方があるのだと驚かされました。

昨年のファイルメーカーを用いた藤原さんの発表もかなりの驚きでしたが、今年も驚かされました。一人ではできない赤外線Talkを試したのが収穫でした。ケーブルを使用したTalkとほとんど変わらないスピードでファイルを転送できるようでした。設定はいたって簡単なのですが、いざというときに出来ないという困りますからね。

#藤原さんのファイルメーカーの音頭、売り物になりますよ。 熊谷

MMM97。参加者は、日経MACの98年1月号「Open Transportなんて大嫌いだ！」のすごい記事を書かれたインフォメーション・アナリストの川村浩真さん。それとDr.Kこと佐藤さん。(私が会場でMNI28にデータカードを使ってPIAFでARAがつかないと言ったら、その場で野村会長のDuoを借りられてあっという間にYooEditでCCLファイルを改造してくださいました。家に帰ってこれをJeditでクリエータをモデム書類に戻して入れたら無事つながりました。うれしい。すごい！。Dr.Kありがとうございました。)他、IMF友の会有志8名。このくらいの人数だと目的がMACですので総当たり戦というか、話はずることはありません。

<中略>— ごめんなさい (編集者)

それと会場で7.6.1とOS8の入った二台のPB2400並べて、大きく開いたフォルダの括弧の比較を実演され一目でOSによる表示の速さの違いを解るように説明されました。これほど単純に違いを説明できることに脱帽。あれ?.....もう昔く場所無いいんじゃないから。それでは、急いでMMM97で発表された内容のことを。「場外でさえこれだけすごいのですから当然今年も内容が濃かった。参加してみればわかります。」あなたも来年どうですか。 藤原

(写真提供:長土居さん、川村さん)

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

# Mac de FAX For FAX stf 3.2.3J & ファイルメーカーPro3.0J 藤原友行

「MacでFAXを」  
....というわけで、前々号に続いて、MacとファイルメーカーProでということで、FAX送信についてご紹介したいと思います。

普段の連絡手段として、手っ取り早いのは電話です。わざわざMacでFAXをしなくてもよいという考え方もあります。また、インターネットやパソコン通信のe-mailの方が便利な場合もあります。しかし時と場合や相手によってはFAXの方が良い場合も多いと思います。

(最初から話が脱線しますが、Macを使っているとついあれもこれもMacでやってみようとか出来ないだろうかと考えたり、それが割と簡単に実現できたりすると、ますます、もっと身近にMacをということPowerBookを手元に!などと、おなじみのコースに。こうしてモデムカードをとく、ランカードでとか様々な通信接続手段を考えてケーブルを用意し、今度はPHSでとかISDNカードを。そうだ!GPSでカーナビみたいなことできないかしら等.....。という今日この頃です。)

さて、MacでFAXを送信についてです。少し手間がかかりますが、一度設定をしてファイルメーカーProの住所録に相手のFAX番号を登録さえすればボタンクリックで簡単にファクス通信ができます。このときのメリットは、FAXした内容の履歴の管理が簡単にできることなどで、例えば

1. 送信した内容を印刷した紙の管理が不要。
2. 簡単に過去の送信内容を検索確

認ができる。

3. 緊急の用事でなければ相手を拘束せずに細かな連絡が取れる。
4. ハガキや手紙のレイアウトを用意し兼用すると過去の手紙などの履歴も管理できる。
5. 過去の送信内容をコピーなどして文書のリサイクルがやりやすい。

(例) 毎年送ってもらっている新潟の梨の礼状等。...?

などです。欠点は、相手がFAXの受信環境になければならない事や思い出したくないことなども記録に残るなどですが、使い方次第ということだと思います。

さて、FAXの受信手段としては通常のファクシミリで受信する方法とモデムで受けるやりかたがあります。モデムで受ける方法は、Macの使い方に制限が加わり、シリアルポートのトラブルの元になることがあります。例えばFAXの自動受信設定にしていると常にその接続しているポートをMacが見張っていて開放してくれないのでデジタルカメラのケーブルにつなぎ変えた場合、そのままでは通信できなかつたりすることなどです。

したがって一般的には、モデムで自動受信をしない設定にしてファクシミリで受けるほうが簡単だと思います。

次にFAXを送信するソフトですが、「めぐみ」の部屋でも何度か話題になりましたが、フリーや市販のFAXソフトなどや純正のAppleテレコムを使うやり方があります。私の場合は、あんまりマニュアルを読みたくなかったというか、ずぼらを決め込んで、最初に購入したモデムに付いてきたのが「FAXstf」の簡易バージョンでしたので、まんまとメーカーの思惑通りになってしまいました。それ以降ずっと「FAXstf」のバージョンをあげて使っています。現在は、3.2.3Jです。

自分がFAXstfを使い始めたころは、ファイルメーカーとの相性が悪くパッチを当てないと使えなかった

りしてイマイチでした。だんだんに改良されてきて現在は安定していると思います。ただ、せっかくファイルメーカーProで住所録があるのにFAXstf独自のFAX番号簿をまた作り、そこから送信するのが基本的使い方でした。(もちろんFAXstfの中にも取込手段はあります)

ある日、日経MACの記事で(株)エミックから「テレコムマネージャー」というファイルメーカーProとFAXstfを接続することができ、またダイヤラーとしても使えるソフトの記事を見ました。早速取り寄せてみました。説明書が二枚で四つにたたんでおり、小さな文字と設定図でぎっしりと両面に書かれていました。とりあえずダイヤラーに使ってみましたら少しのメモリーで動き便利でした。そしてこれまでの住所録にファクス送信ボタンを付けてみましたら大変便利でした。

前ふりが長かったのですが、これらを使ったファイルメーカーPro3.0のスク립ト等の設定方法のご紹介をします。

まず、FAXを送信するにあたって複数の宛先に同報するやり方もありますが、今回は、スク립トの組みやすさを考えて、目的を個人利用で、送信先を一カ所にしぼって、気軽にメール感覚でFAXを送る事を前提で始めます。なおモデムやFAXstfの説明については、今回はページの都合と手抜き?...の関係で省略します。

全体の流れとしては、ファイルメーカーProで

1. 「住所録ファイル」を作成する
2. 「通信文ファイル」を作る
3. 「通信文ファイル」に送信スク립トを書く
4. それぞれのファイルに移動ボタン等の設定をする

以上4項目の作業です。では、順を追って記述したいと思います。

### 1. 「住所録ファイル」を作成する

ファイルメーカーProの「住所録ファイル」ですが、図1のように次のフィールドを定義します。

- 1.住所 2.氏名 3.ふりがな 4.郵便番号 5.電話番号
- 6.FAX番号 7.備考など。(各フィールドタイプはテキスト) 他にメールアドレスや携帯電話の番号もあると便利です。

### 2. 「通信文ファイル」を作る

「通信文」ファイルは、次のフィールドを定義します。(図2)

- 1.電話番号 (フィールドタイプ=テキスト)
- 2.日付 (フィールドタイプ=日付でオプションは作成日)
- 3.時刻 (フィールドタイプ=時刻でオプションは作成時刻)
- 4.修正日 (フィールドタイプ=日付でオプションは修正日)
- 5.修正時刻 (同タイプ=時刻でオプションは修正時刻)
- 6.通信文 (フィールドタイプ=テキスト)
- 7.FAX氏名 (フィールドタイプ=計算)

※「7」の計算内容は、電話番号を照合フィールドに使いリレーションを組んで住所録ファイルの中のFAX番号と氏名を"."でつなげた文字列を作ります。これは、例えば氏名=林検太郎、FAX番号=019-123-XXXXのとき、計算結果はテキストで「019-123-XXXX.林検太郎」となり、この文字列をテレコムマネージャーがFAXsifに渡してファイルメーカーからFAXが送信できるのです。

さて、説明が後になってしまいました。リレーションの設定ですが、今回は個人用の住所録ですので、照合フィールドは電話番号を使いたいと思います。(図3,図4) 通信文のファイルにも送信先の氏名などが見えるようにするためにこちらにも電話番号を照合するリレーションを設定します。(図5)

次に住所録から通信文を新規作成したときに通信文ファイルに電話番号を自動でコピーして文書入力画面に移動するために、スクリプトを二つ作成します。まず住所録の方に図6のように定義します。

5行目の外部スクリプトは、通信文ファイルに定義する図7のスクリプトを指定します。

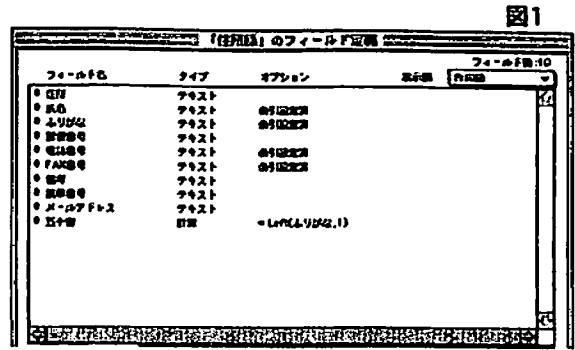


図1

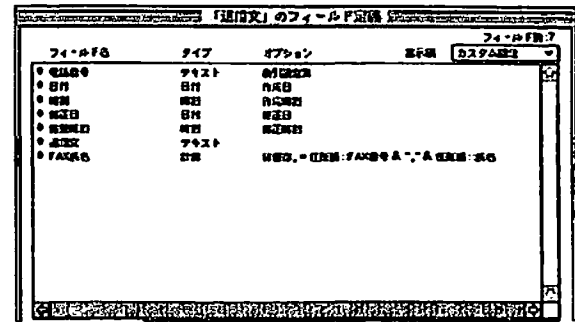


図2

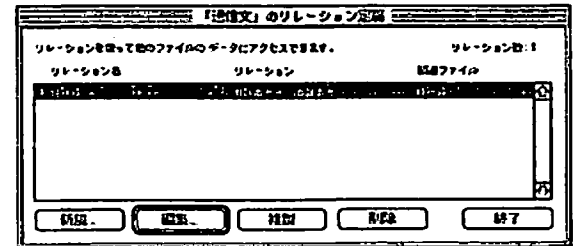


図3

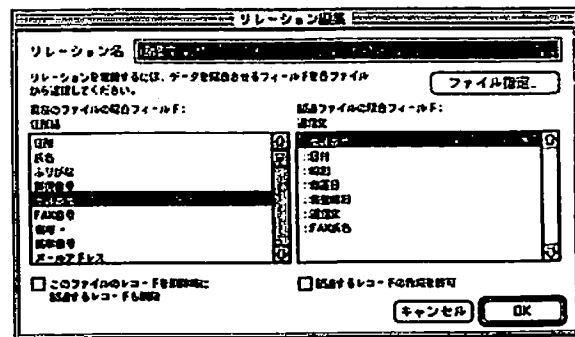


図4

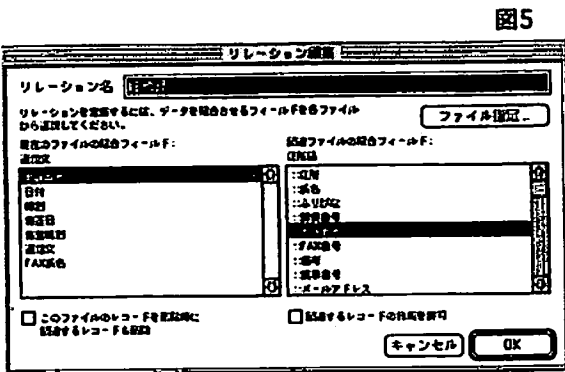


図5

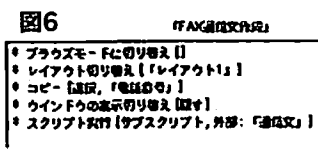


図6

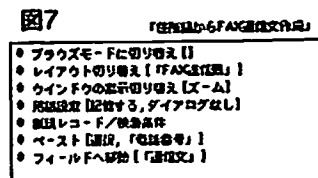


図7

次の作業をする前にテレコムマネージャーを使った時の用紙設定を記憶させるために送信レイアウトを使って送信作業を実行する必要があります。

まずアップルメニューのセレクトラの中のプリントドライバーをFaxPrintを選びます。

ファイルメニューのFAX設定で用紙サイズをA4に選びます。

ファイルメニューの印刷を選び図8のように設定します。

宛先を入れて送信または保存ボタンをクリックします。

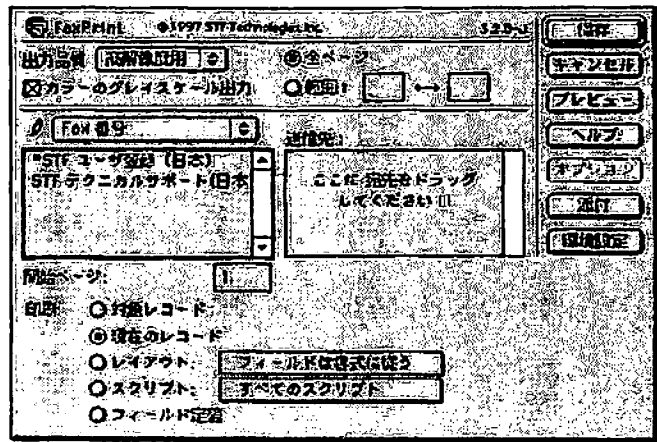


図8

### 3. 「通信文ファイル」に送信スクリプトを書く

次に「ファックス送信」のスクリプトですが、図9のように設定します。

- ①行目は送信時刻を記入します。
- ②行目はプリンタードライバーをFAXsifに切り替えます。

#### ※AppleEventの記入方法 (2行目の例)

- A. スクリプトステップの中から「AppleEventの送信」を選択します。(図10)
- B. 「指定」ボタンをクリックします。
- C. 「アプリケーション指定」ボタンをクリックして「テレコムマネージャー」を指定します。(図11)
- D. ポップアップメニューの「その他」を指定しイベントを図12のように記入し「OK」ボタンをクリックします。

各イベントは、大文字と小文字の区別がありますので慎重に記入します。

以下同様に各イベントを記入します。

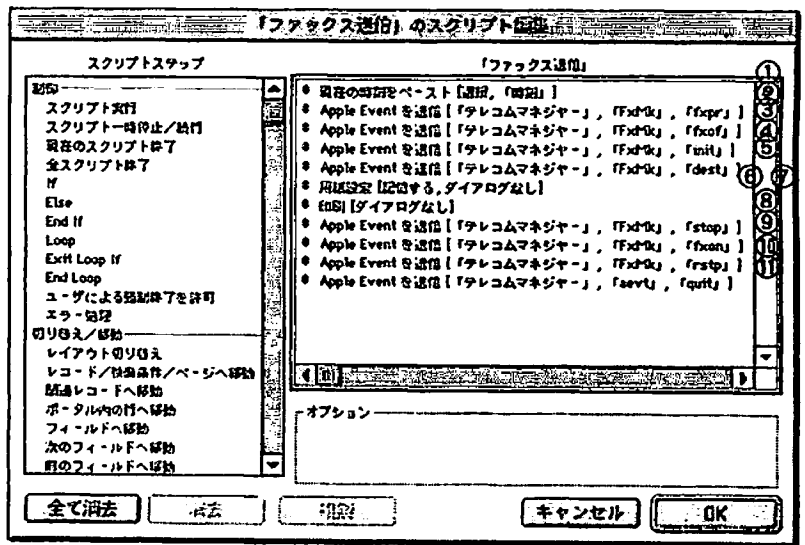


図9

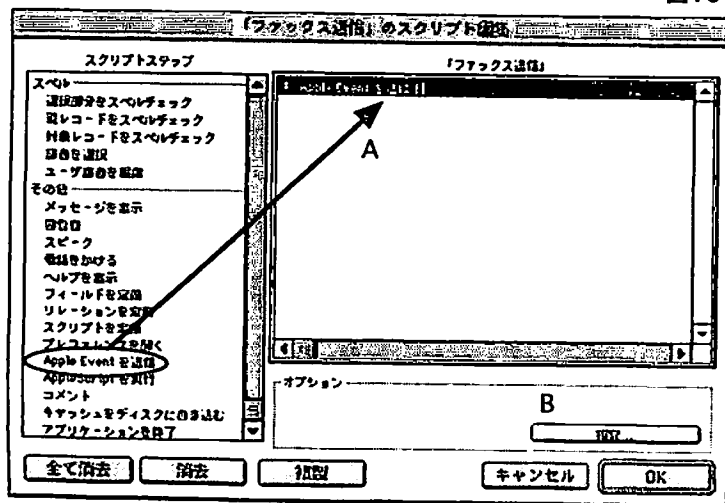


図10

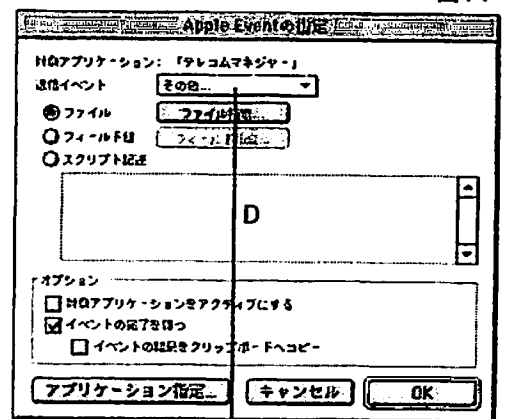


図11

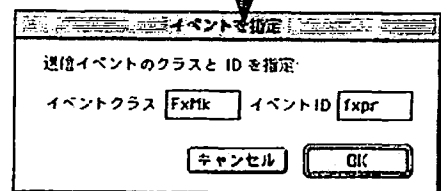


図12



- ③行目はFAXstfをoffにします。
- ④行目はFAXstfを初期化します。今回は一括送信をOFFに指定するためにAppleEventの指定のスクリプト記述のラジオボタンをクリックし「0」（数字）と記入します。（図13）
- ⑤行目はFAXstfに宛先を指定します。フィールド値として先に定義した「FAX氏名」を使いますのでフィールド値ラジオボタンをクリックしフィールド指定ポップアップメニューをクリックし「FAX氏名」を指定します。（図14）
- ⑥、⑦行目は印刷が実行されます。用紙設定は「記憶する、ダイアログなし」印刷は「ダイアログなし」です。
- ⑧行目でFAXstfに送信が一件終わったことを伝えます。
- ⑨行目でFAXstfをONにします。
- ⑩行目でプリンタードライバーを元の設定に戻します。
- ⑪行目でテレコムマネージャーを終了します。

なお、AppleEventを送信する対象アプリケーションの設定は忘れずにそれぞれの行でテレコムマネージャーを指定します。

以上でファックス送信スクリプトの設定は終了です。

図13

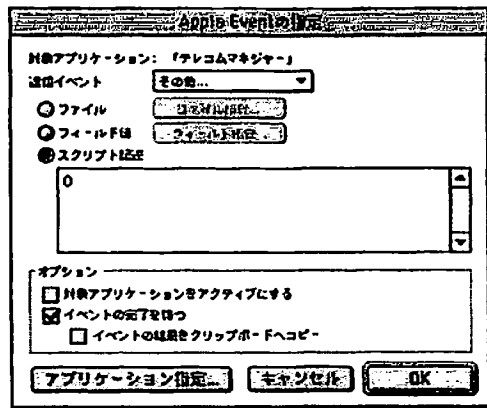
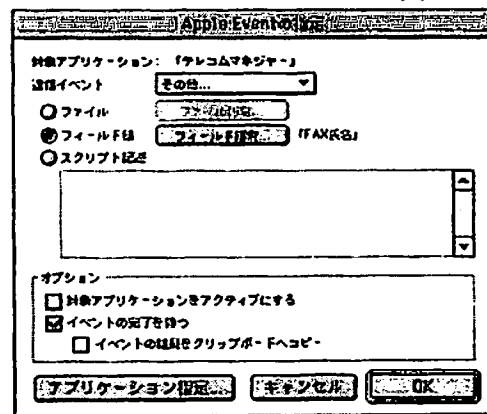
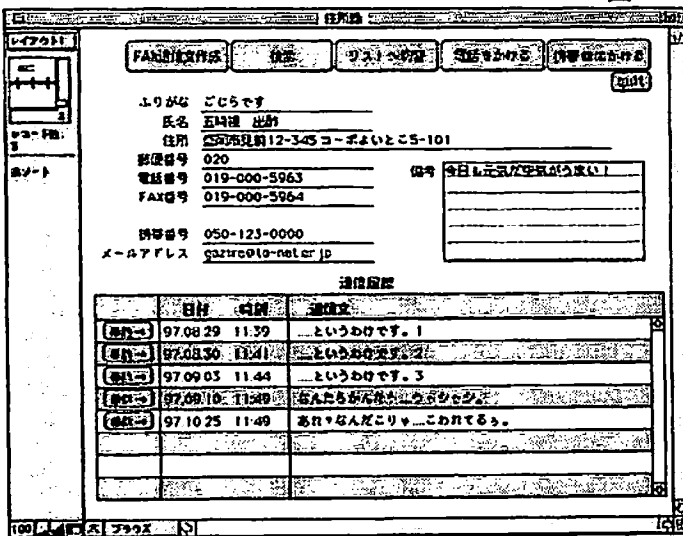


図14



ファイルメーカーPro.のレイアウトの例 図15



#### 4.それぞれのファイルに移動ボタン等の設定をする

あとはこのスクリプトの送信ボタンを「通信文」ファイルに付けてお試ください。

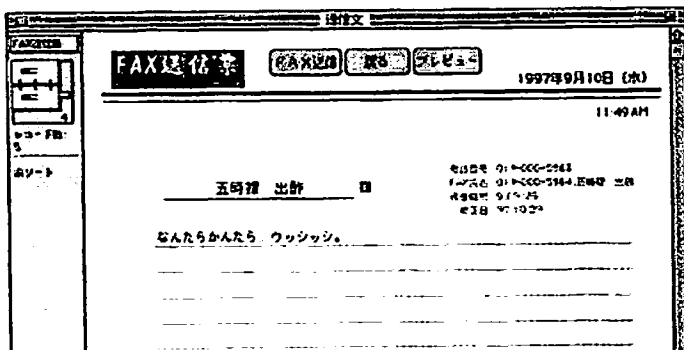
送信後に住所録へ戻るボタンを付けて、先に述べた通り電話番号を照合フィールドとしたリレーションを組んで住所録にポータルを設定しておけばファックスの履歴がすぐに確認でき、また、関連レコードへの移動ボタンをその中に付けておけば内容の確認も一瞬でできます。（図15）また、前々号の「Macで手ぶらphone」でも述べましたがファイルメーカーPro.3.0ではダイヤラーを内蔵していますので「電話をかける」ボタンを設定しておきますと、より住所録が便利になります。

なお、ファックス送信ボタンをクリックしたらFAXstfのFaxStatusを立ち上げますより確実につながります。

それでは、Enjoy、マックライフ！

参考資料：(株)エミック テレコムマネージャー 2.0.2付属マニュアル

図16



mail : banana@nnettown.or.jp 藤原友行  
編集 熊谷知暁

# 私のMacライフ

## 酒井裕之

### 接触編

私が初めてパソコンという物に興味を持ったのは、忘れもしない1995年の12月のことでした。そう、Windows 95が発売されたのです。それまで私は『全く』パソコンという物に興味がありませんでした。ゲーム機があればよかったのです。

Win 95の発売当初、マイクロソフトの宣伝に大勢の人達が(アップルも)躍らされていたようですが、Winユーザーの友人達はちっ

とも躍らされていませんでした。

その頃「アップルなんかもうダメ、こんな会社に未来はない」と、知り合いの大学生が話していました。私には彼の方がアップルより大変な未来が待っているような気がしたのですが、それはともかくこの時期にMacintoshに興味を持ちました。

そして2月のある日、某ゲーム誌を立読みしていたときです。ある記事が私の目にとまりました。「Win95はWin3.1に比べて使いやすくなった。それは確かだが、Macは10年前から(Win95

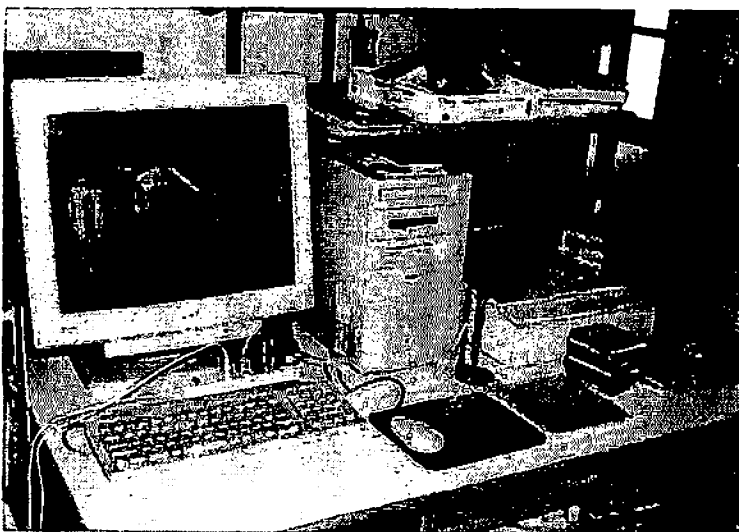
と)大体同じことが出来る。みなさんはその事を知っていますか? マスコミに躍らされていませんか?」大体こういう内容でした。

3月に私は初めてMacの雑誌を買いました。それから知識を蓄え知恵を借り、6月に通信販売で購入しました。

さて、意を決して購入しました。さあセットアップです。本体とモニタを繋いで電源もよし、パワーキーを押しました。ジャーン!

起動画面が出ない・・・あれこれ見てみましたが何が何だか分からず、知り合いのMacユーザーN氏に救援を頼むという情けない有り様でした。(所詮は言い訳ですが、私はビデオやテレビのチャンネル設定も苦手な機械音痴です)原因は、モニタの変換アダプターのディップスイッチを正反対に設定していたため、モニタに表示されなかったのです。やれやれですね。

こうして、私のMacライフはよたよたとスタートしたのです。その後IMFの会員になるなど、この時の私には全く想像できませんでした。



## 発 動 編

めでたくユーザーの仲間入りを果たして5カ月、私は遂に? インターネットを始めようと考え、それもISDNで始めようとする年の11月にNTT花巻局を訪ねました。

ISDNを導入しようと考えたのは、やるなら通信速度は速いほうが良いと考えたからです。雑誌ではターミナルアダプタも安くなってきているとか、NTTの対応も早くなってきているという記事を読み、「じゃ、これでやろう」とあっさり決めました。もうアナログモデムは思考の外です。

さて、NTTを訪ねた私は職員に聞いてみました、それは「団地(県営住宅)でもISDN化は出来るのか」ということでしたが、職員は「大丈夫だと思います」と軽く答えてから、申し込み用紙の書き方を教えてくれました。そして翌日に申し込んだのですが・・・

「工事日について○日に連絡します」と言われた私はすぐに始められると思い、その日のうちにターミナルアダプタを注文してしまいましたが、指定された日にNTTから連絡は来ません。工事の予定を伝えられたのは指定された日から1週間以上遅れた揚げ句、工事が入るのは2月初旬と言われてうんざりしてしまいました。

結局、工事は1月中旬に入りましたが接続トラブルに悩まされ、アクセスできるようになったのは1月の末でした。こうして



手間取っている間にターミナルアダプタは値下がり続き、2月初旬には1万円以上値下がりしていました、おのれNTT。

その後3月、3Dソフトのレンダリング速度に我慢が出来なくなり、ちょうど新型が発表されたのでMacを買って替え、6月にはMOも買って替え、9月にOS8を購入、11月現在私はIMFの原稿を書いています。

私がMacを選んだのは、Win 95に対して妙に冷静だった友人達と、そしてある意味ではビル・ゲイツ氏のお陰です。それに彼はアップルにたくさん投資してくれました、なんていい人なんでしょう。

「ありがとうミスターゲイツ、今やMacは私の生活の一部です。これからは派手に司法省や商務省と喧嘩して下さい、貴方の事は永遠に忘れません。」

なんだかしょうもない内容ですが、これが私のMacライフです。こんな駄文に最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

文 : 酒井裕之  
編集 : 熊谷知暁

# 私のMac Life

三浦秀徳

岩手Mac友の会に入会して、いろいろと有用な情報を頂いて、とても感謝している今日この頃です。Macのことをまだそんなに“知っている”わけではない私が自分のMac歴を紹介するなど、非常におそれ多く、かつ恥ずかしい限りですが、簡単に紹介させて頂きま・・・、と・・・  
(おいおいなんだよ)・・・。

失礼しました。どうも堅苦しい挨拶をさせたらこの人はきりがないので、ここで私が代わりに紹介をしたいと思います。あっ、申し遅れました。私はPerforma5220といまして、ご主人である三浦にさんざんこき使われているものです。ここでは私が普段どのように扱われているかを述べまして簡単な紹介とさせていただきます。

私が大学の研究室へやってきたのは忘れもしない今年の夏の日でした。それまでは家で大事に飾られ、ご主人の友人たちに自慢するタネにされていたわけですが、とうとう大学へ連れてこられ、本領を発揮する？ことと相成りました。

インターネットは僕の中に異分子が入ってくるようでいやだと言ったのですが、どうしても、ご主人に頼まれてましてしぶしぶ学内LANと契約を交わしてしまいました。でも、今思うと恐れることは全然なかったです

ね。ご主人は仕事が進むし、私も外からの情報を覗けて、いろいろと勉強できます。たまに、ご主人がエッチなページを夜中に覗く姿を見て“おいおい”と言いたくなることもありますが、実は私もしっかりと眼に焼



これが私、Performa5220 (RAM48MB,HDD800MB,OS8) です。

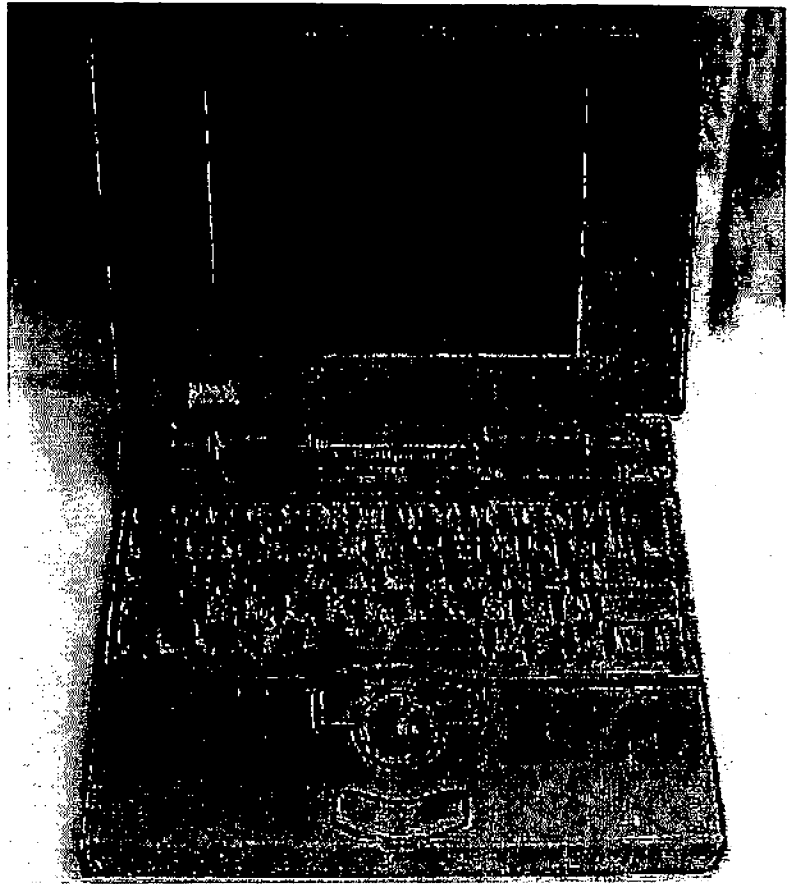
き付けているのです。

我が主人は、最近グラフィックに凝っているようです。と言ってもそんなに腕はなく、デスクトップピクチャをいろいろと変えて楽しんでいるだけのようです。私も気分が変わってうれしいものです。しかし、ご主人さまの描いたうまいとは言い難い絵を張り付けたときは最悪でした。ご主人がとてもうれしそうに何か描いているなあと思った時、いやな予感がしたものでした。ご主人はとて満足そうに私の顔を眺めているのですが、私は気分が悪いので早く変えて欲しかったですね。今は友の会のホームページから取り込んだ盛岡市の夜景で顔を飾っています。

私がうれしいことと言うとやはり、毎日起ちあげて使って頂けることではないでしょうか。研究室に入ってくるご主人をみると、うれしくてつい尻尾を振ってしまいたくなります（尻尾がどこにあるかは秘密です）。我が主人は、寝坊助なので研究室へやって来るのが遅くて困ります。こちらは使ってもらいたくてうずうずしているのに、ちっともわかってもらえません。また、私は夜は眠いのです。それなのに、ご主人は夜中までいつまでもうだうだと仕事をしているのです。まったく、規則正しい生活をしてほしいですね。

私のことはこれぐらいにして、次に弟を紹介をします。

こんにちは。僕はPower Book 180cです。僕は栃木県出身なのです。前の主人の気が変わり僕を売りに出していました。売り



弟のPowerBook180c (RAM8MB,HDD160MB,KT7.1) です。

出し中の僕が紹介されているインターネットのページを今の主人が見つけて、もらわれてきたというわけです。

僕はだいたいご主人さまのアルバイトで活躍しています。この岩手Mac友の会との連絡が僕の主な仕事の一つです。でもご主人は恥ずかしがり屋なので、友の会にはこちらからは全然働きかけないんです。いつもみんなの掲示板を黙って読んでいます。すごく楽しそうに読んでいるのにどうしてこちらからは書いたりしないんだろう。うちのご主人は内気なのだろうか・・・。

このようなMacたちに囲まれ、私（三浦）はとて幸せです。たまにごねて凍ってしまうこともあります。普段は仲良くやっています。クラッシュという重い病気も経験しまして（熊谷ドクターには本当にお世話になっています）、絆はいつそう深くなったように思います。こんな我々ですが、IMFのみなさま、どうぞ宜しくお願いいたします。

IMF283

三浦秀徳

岩手大学大学院教育学研究科M2

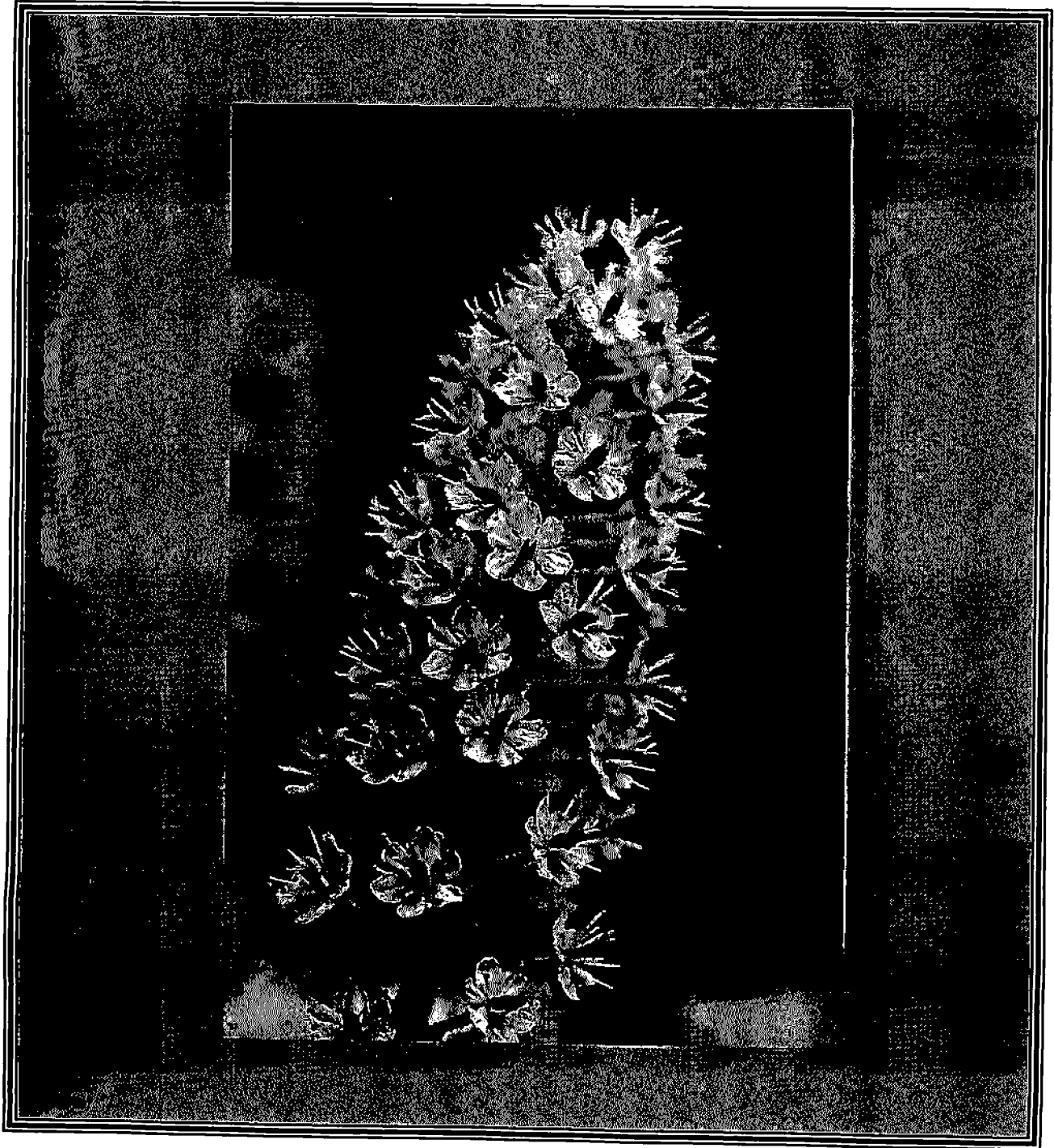
編集：熊谷知暁

山に行って良く見かけるのがこのコバイケイソウです。小さな花が円錐状に集まって咲き、つぼみの頃に見ることが多く、なにかモヘンとしていて、しかもそこらじゅうに有るので有難味がなく感じていました。時々本などでコバイケイソウの入った写真を見ると、見かけは悪いのになんて写真写りの良い花なんだろう



と思っていたものです。

ところが今年はこの花が輝くように美しく咲いていました。本には3~4年に一度群落をなして咲くと書いて有りました。今年は何の山に行ってもコバイケイソウが目立ち、しかも美しい。豊作の年は同じ花でも咲き方まで綺麗なんだろうかと考え込んでしまいます。



# 編集後記



編集長

最後の編集後期です。去年佐藤先生から編集長を引き継いで早二年近くがすぎました。3月から中国に留学しますのでこれが最後になると思います。執筆して下さった皆様どうもありがとうございました。

藪

やっとの思いで5ページを埋めました。今年はなぜか担当ページが多くて沢山書いたような気がします。G3Macが出ましたが、新OSが登場する来年のアップルが楽しみです。(来年2月のMACWORLD Expo.は見物かも?)



野村

今年の海の日に大雪山に行く計画を立てたのですが、どこかの学会があって全てのホテル、飛行機などの交通機関がふさがって、断念しました。来年は同級会があり行けないけれど、きっと何時か高山植物のメッカ大雪山に行きたい、そしてこの林檎に出したいというのが、最大の夢です。

佐藤

今回私が編集したページは全て、P D Fファイルにしてから出力したものです。PageMakerからの出力より時間が少なく済みました。盛岡での生活六年目にして初めて、盛岡での年越しを体験する予定です。

熊谷

今回の編集後記作成は、藪編集長での一応最後となるようです。今後どうなるのでしょうか? どなたか編集長を引き受けていただけませんか? 皆様からの立候補をお待ちいたしております。

土村

# 会員名簿

浅田 昌徳	IMF035	北上市	菅原 忠雄	IMF124	花巻市
我妻 則明	IMF241	盛岡市	杉村 栄一	IMF036	盛岡市
安倍 富士男	IMF230	盛岡市	杉村 峰秀	IMF113	花巻市
阿部 好晴	IMF203	盛岡市	鈴木 裕之		盛岡市
飯島 仁	IMF211	滝沢村	瀬谷 圭太	IMF264	盛岡市
一井 誠	IMF122	盛岡市	外川 正	IMF244	盛岡市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	高島 浩一郎	IMF012	盛岡市
伊藤 誠	IMF274	盛岡市	高橋 晃	IMF031	盛岡市
井上 博幸	IMF239	盛岡市	高橋 文	IMF261	北上市
祝田 明子	IMF227	盛岡市	高橋 哲矢	IMF260	西根町
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
大木 哲	IMF206	盛岡市	田領 清光	IMF278	盛岡市
沖野 寛	IMF044	二戸市	田村 修	IMF242	盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	田村 俊博	IMF289	宮古市
箱谷 貞志	IMF282	盛岡市	千田 秀明	IMF285	東磐井郡
神 達宏	IMF229	盛岡市	千塚 浩保	IMF126	盛岡市
菅野 研一	IMF211	宮古市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	土村 中	admin	盛岡市
菊池 弘光	IMF269	花巻市	寺田 明功	IMF068	弘前市
木村 栄子	IMF268	盛岡市	服井 芳夫	IMF026	花巻市
木村 直弘	IMF270	盛岡市	遠山 明人	IMF200	盛岡市
工藤 まさき	IMF275	二戸市	徳富 亙	IMF015	花巻市
工藤 聡	IMF094	秋田市	戸田 文彦	IMF234	盛岡市
園光 勝美	IMF243	盛岡市	戸塚 幸徳		盛岡市
久保 山形村	IMF235	盛岡市	中島 恵助	IMF236	盛岡市
熊谷 知曉	IMF273	盛岡市	長土 正弘	IMF087	盛岡市
熊谷 朋也	IMF008	秋田市	中野 岳史	IMF254	盛岡市
熊谷 雅也	IMF249	大船渡市	夏目 俊	IMF276	盛岡市
熊谷 ゆかり			成田 新一	IMF288	宮古市
後藤 百合子	IMF271	盛岡市	西島 光彦	IMF017	盛岡市
小松 寿夫	IMF102	仙台市	根本 聡彦	IMF042	札幌市
今田 亮吾	IMF256	盛岡市	野村 行憲	IMF000	盛岡市
近藤 英一	IMF226	紫波町	長谷川 晃	IMF240	花巻市
斎藤 秀一	IMF109	盛岡市	花立 純	IMF246	矢巾町
斎藤 博之	IMF251	盛岡市	濱 朋哉	IMF263	玉山村
斎藤 裕	IMF262	紫波郡	堀井 和彦	IMF218	盛岡市
酒井 裕之	IMF284	盛岡市	福士 喜兵衛		盛岡市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	福田 健次	IMF005	盛岡市
密川 順子	IMF220	盛岡市	藤澤 敏栄	IMF209	花巻市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	藤村 秀男		滝沢村
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	古川 裕一	IMF225	盛岡市
佐々木 秀隆	IMF258	西根町	本多 健一郎	IMF025	盛岡市
佐々木 文雄		紫波町	茂 三治	IMF211	
佐々木 貞嗣	IMF247	盛岡市	三浦 吉範		盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	村上 厚子	IMF257	盛岡市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
佐藤 雅子		盛岡市	村上 弘行	IMF049	盛岡市
佐藤 学	IMF119	水沢市	村田 知己	IMF266	盛岡市
佐藤 徳人	IMF010	盛岡市	柳田 久弥	IMF231	石巻市
佐藤 安男	IMF232	盛岡市	萩 敏裕	IMF214	盛岡市
渋谷 昌二郎	IMF238	二戸市	山田 政行		盛岡市
清水 昭子	IMF272	北上市	山本 淳	IMF034	盛岡市
十文字 保雄	IMF277	二戸市	吉田 勇一	IMF255	滝沢村
白石 茂	IMF201	盛岡市	吉永 園光	IMF259	盛岡市
白石 隆	IMF039	盛岡市	渡辺 浩志	IMF069	能代市
白沢 道生	IMF207	盛岡市			(1997.12.10.現在)

# 会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号: 18370 番号: 11993671

名義: 岩手Mac友の会 笹川順子

なお、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。よろしく願いいたします。

# 例会案内

2月 21日(土)  
3月 21日(土)

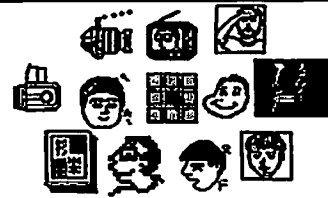
14:30 開場  
15:00 例会  
17:00 解散

場所:  
岩手大学教育実践研究  
指導センター

## 一月の例会

1月 17日(土)の例会は、  
岩手大学が大学入試セン  
ター試験のため閉鎖されま  
すので、場所を変更して行  
う予定です。

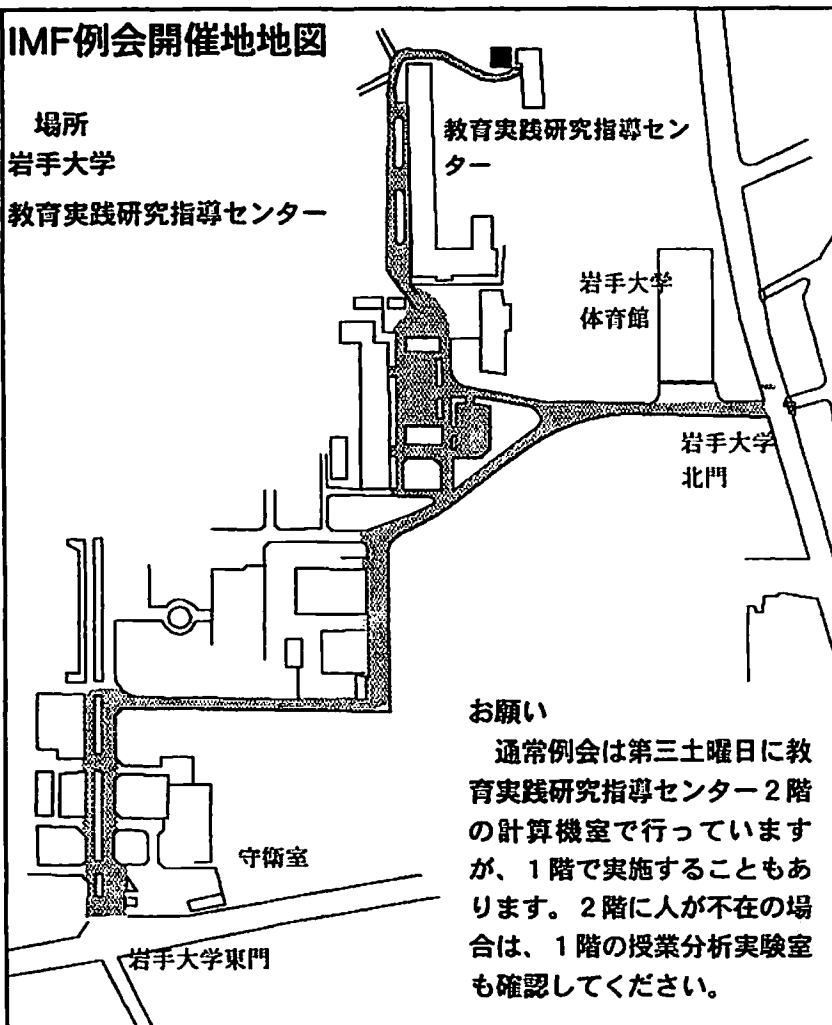
詳細は、めぐみにてお知  
らせたいしますので、よろ  
しくお願いいたします。



例会の後で、場所を  
変えて編集会議を行っ  
ています。お時間のあ  
る方ご一緒しません  
か?とっても楽しいで  
すよ!とても勉強にな  
りますよ。

### IMF例会開催地地図

場所  
岩手大学  
教育実践研究指導センター



お願い  
通常例会は第三土曜日に教  
育実践研究指導センター2階  
の計算機室で行っていますが、1階で実施することもあり  
ます。2階に人が不在の場  
合は、1階の授業分析実験室  
も確認してください。



「林檎」44号は...  
First Class ATOK11  
MacVJE-Delta EGBridge9.0  
ClarisWorks Freehand  
Acrobat Illustrator  
PhotoShop SuperPaint  
Canvas MacPaint  
NisusWriter EGWord  
Jedit QuickTake200  
GraphicConverter  
等で作ったものをPageMakerで  
まとめ、LaserWriter, Microline  
でプリントしました。

「林檎」第44号 1997/12/20  
編集長 藪 敏裕  
発行 岩手Mac友の会  
代表者 野村 行憲  
020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品